

楽典和声講座 演習問題 #02 音の呼び方 解答

1. イタリア音名～ド・レ・ミ・……

◆次の文章はイタリア音名について述べたものである。空欄を埋め、選択肢は適切なものを丸で囲め。

イタリア音名は、一般的には「ドレミファソラシド」という音の呼び方を指すが、声楽においてはJohn Curwenの提唱したトニック・ソルファ法の影響で、(シ) を (ティ) と呼び替えることが多い。

この教育法では、音名の母音を変えることで#や♭の付いた音も表せる。例えば、「ファ#」は (fi)、「シ♭」は (to) などと表す。声楽では特に (固定ド ・ 移動ド) の表現によく用いる。

2. 日本音名～ハ・ニ・ホ・……

◆次の文章は日本音名について述べたものである。空欄を埋めよ。

日本音名は、「いろはにほへと」に由来する日本独自の音名である。例えば、「レ」は (ニ)、「ファ」は (ヘ) と呼ばれる。また、#・♭を指す言い方もあり、「ド#」は (嬰ハ)、「ミ♭」は (変ホ) と呼ばれる。

音部記号の名前は日本音名に由来し、「ト音記号」の渦の中心は、イタリア音名でいう (ソ) の音を指し示している。

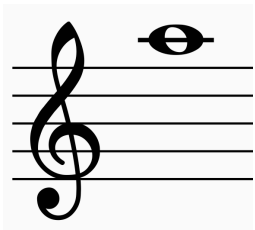
3. ドイツ音名～C・D・E・……

◆次の文章はドイツ音名について述べたものである。空欄を埋めよ。

ドイツ音名は、「CDEFGAHC」という音の呼び方である。例えば、「G」は (ゲー) と読み、イタリア音名でいう (ソ) を指す。この音名では、語尾を足すことで#・♭を表す。例えば「ド#」は (Cis) と呼ばれ、「レ♭」は (Des) と呼ばれる。ただし、いくつか例外があり、「シ♭」は (B)、「ミ♭」は (Es) と呼ばれる。

4. 音域の表し方～low・mid・hi

次の音符は何の音を指しているか。「mid2A」のように、「low・mid・hi」の記法とドイツ音名を併用して書け。



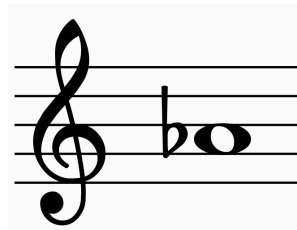
(hihiA)



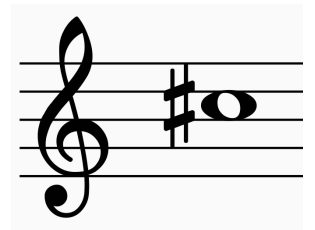
(hiF)



(mid2E)



(hiAs)



(hiCis)



(hiA)



(mid2F)



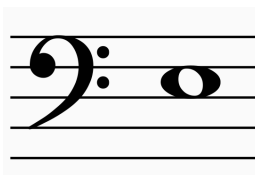
(mid1E)



(mid2As)



(mid2Cis)



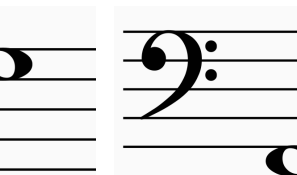
(mid1E)



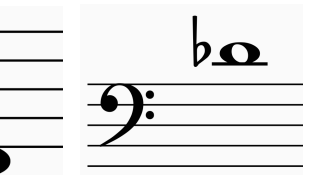
(mid1H)



(mid1Gis)



(lowF)



(mid2Des)